［機械部会活動計画書様式］'98/4改訂

委員会の名称： 情報化機器　技術委員会

分科会の名称： 分科会

提示先：(1)当該の委員会・分科会・ﾁｰﾑの全ﾒﾝﾊﾞ（適宜）
(2)幹事会（毎9及び3月の定例幹事会など）
(3)その他(ｽﾃｱﾘﾝｸﾞｺﾐｯﾃｨなど)

平成22年度　活　動　計　画・実　績　（書）［1／1］

（記入は、別に定める記入要領により、紙面が不足する場合は本用紙にて追加する。）

［計画］
当初：平成　22年　2月15日作成
変更：平成　　年　　月　　日最新改訂

［実績・活動結果］　／
上期：平成　22年　9月　　9日　記入
下期：平成　23年　1月　　24日　記入

委員長などの氏名：　加藤　武雄　（印）［委員長の所属機関・企業名：　コマツ　］

No	事業課題［テーマ］	No	事業概要	No	実施項目	区分	日程 ～前年度末	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	次年度以降	備考［計画変更の理由など］
1	ICTの利活用		建設施行を取り巻く課題への対応策として情報化施工がイノベーションの手段として位置づけられ、様々な試みが行われている。情報化施工を行うにあたり、建設機械に搭載されている電装品や計器に新たな機能を求められたり、新たな電子機器が搭載されることが十分に予測される。このような新たな電子機器を情報化機器と名付け、将来の情報化施工に対応した機器の方向性を把握し、標準化活動につなげる。	1	情報化施工現状調査 他業界IT適用現状調査 （ｳｵｯﾁﾝｸﾞ）	計 画 実	当初 変更 績						平成22年8月2日に国交省から報告された「情報化施工技術の一般化・実用化の推進について」をインプットし情報共有した。他部会の動向に注目して行く。								
						計 画 実	当初 変更 績														
						計 画 実	当初 変更 績														
2	安全、災害対策		建設業における労働災害のうち、建設機械に関連する事故を低減するために、ICTや電子機器が使われ始めている。 また、自然災害の復興には建設機械の使用が欠かせない。特に危険な現場では遠隔操縦や自動化が有効な手段であり、これらはICTや電子機器で実現される。 このように建設機械におけるICTや電子機器関連の技術の動向を把握し、普及や標準化の活動を推進する。	1	建機の労働災害防止に有効な後方監視カメラやバックアラーム等の技術動向調査　（ｳｵｯﾁﾝｸﾞ）	計 画 実	当初 変更 績						技術動向を調査し共有した。 日本精機ディスプレイ事業部殿によるWBLのプレゼンを開催した(8/27)。								
				2	電気系火災を防止するための活動 電気火災実例集の作成と公開 （審議）	計 画 実	当初 変更 績						電気火災実例集を作成しホームページに掲載する。 事務局で対応中。								
				3	災害復旧現場で遠隔操縦装置無線混信防止案無線利用調査票のJCMAS提案 （審議）	計 画 実	当初 変更 績						無線利用調査票を提案し、審議の結果承認された。 ◇11/18　標準委員会								
				4	安全な電子制御装置を設計製造について定めたISO/FDIS15998適用時の解釈を検討するWGの動向調査（ｳｵｯﾁﾝｸﾞ）	計 画 実	当初 変更 績						2010/5(USA)で開催されたISO/TC127/SC3/WG8の審議結果について情報交換した。 ISO/TC127土工機械委員会SC3分科会WG8特設GP会合に参加し(1/28)情報を共有した。								
3	環境保全		自動車ではエンジンの排出ガス低減機能が正常に機能しているかを知るため故障診断ツールとしてOBDⅡを導入した。このような標準化の有効性や課題を調査し、建機の適応可能性を検討する。 また、環境保全のため、電子機器の環境負荷物質の低減技術動向や建機への適用可能性を検討する。	1	建機へのOBD適用の法規制等の動向調査および先行する自動車(オンロードトラック)の技術調査　（ｳｵｯﾁﾝｸﾞ）	計 画 実	当初 変更 績						特段の進展なしを確認した。								
						計 画 実	当初 変更 績														
4	広報活動		ホームページを媒体とした、委員会の活動を報告し、また他委員会等とのコミュニケーションもできるような場を創設する。	1	ホームページ内容の充実 活動報告掲載、委員連絡ページ充実	計 画 実	当初 変更 績						火災事例集のホームページへの掲載を準備中。								
5	JACMAS、ISO、JIS		標準部会等の依頼に都度対応する。	1	ISOのJIS化支援活動	計 画 実	当初 変更 績						今期は特になし。								
	会議開催日程（開催日時等）：					計 画 実	当初 変更 績	○(4/9) ●4/9)		○(6/18) ●(6/18)		○(8/20) ●(8/27)		○(10/22) ~~○(10/22)~~		○(12/17) ●(12/2	○(1/28) ●(1/28	○(2/18)			

活動結果

［上期］
(1)結　果：
最終修正案2010年4月8日標準部に提出、次回の標準委員会で審議予定
(2)今後の方針：
1) 2-3　無線利用調査票JCMAS提案：
2) 2-2　電気火災実例集の作成と公開：
今期より、「電気火災の実例集の形にまとめ電気系統に手を加えることの危険性を訴える趣旨でまとめる」方針でワーク開始
委員会ﾒﾝﾊﾞ-各社の火災事例をあつめて、ホームページに公開の方針、下期中に一度まとめ公開する予定
3) 2-4　安全な電子制御装置を設計製造について定めたISO/FDIS15998適用時の解釈を検討するWGの動向調査（ｳｵｯﾁﾝｸﾞ）
2010年5月(USA)で開催されたISO/TC 127/SC　3/WG　8　の審議結果について情報交換
4) 危険検知警報装置の動向、現況について意見交換
5) 新技術の紹介　委員会ﾒﾝﾊﾞ-の日本精機殿にてﾎﾜｲﾄﾊﾞｯｸLCDのデモ実施

［下期］
1) 今期の活動は上記の通り、ほぼ成果を挙げた。
(1)結　果：
上記以外の結果
12/20委員会にて中国での部品ｲﾐﾃｰｼｮﾝの現状について、情報交換
主要建機ﾒｰｶのｲﾐﾃｰｼｮﾝ部品が中国で製作され取引されています。ｲﾐﾃｰｼｮﾝﾒｰｶのﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの紹介(komatsuu.com)
(2)今後の方針　2) 今期の活動内容を継続して推進する。